お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	ランプを落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。
	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）	厳守	安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）		

ランプ交換・器具の清掃

ランプ交換

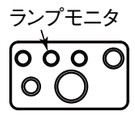
適合 LED ランプ（ランプホルダ付）	WSH1951　WSH1962 WSH1971　WSH1982	LE13103S3W-A
	WSH2951　WSH2962 WSH2971　WSH2982	LE20106S3W-A
	WSH4951　WSH4962	LE20112S3W-A

⚠注意
- ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
- ○ランプの電線を引っ張らない（ランプ破損の原因）

ランプ交換はランプホルダごとの交換になります。

ランプ交換を実施した後は必ずリセットスイッチを押してください。

○ランプモニタ（赤）について
ランプモニタの点滅は「ランプの寿命」をお知らせするものです。累積点灯時間が６万時間（ランプの寿命は約６万時間（約７年）です）に達すると赤色に点滅しますので、新しいランプと交換してください。
（注）ランプ外れ等の異常時には点灯します。この場合は、ランプ破損、コネクタ外れがないか確認してから点検スイッチを押してください。



清掃

○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。○シンナー、ベンジン、磨き粉やたわし、熱湯、化学雑巾、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。○次亜鉛素酸ナトリウムや過酢酸、エチルアルコール等の消毒用薬剤は使用しないでください。○カバーにガラス用洗剤等を使用しないでください。

⚠警告
- 器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

■防水を目的に使用しているゴムパッキンは使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので、定期的な点検、早めの部品交換をおすすめします。

蓄電池の交換

蓄電池は４～６年が交換の目安です。

適合蓄電池	WSH1951,1962 , 2951 , 4951 , 1971 , 1982 , 2971	2N06DB
	WSH2962 , 4962 , 2982	4N06DC

⚠警告
- 蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない また､火中に入れない（やけどや衣類損傷の原因）

蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。

Ni-Cd
この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

照明器具の寿命について

- ●照明器具には寿命があります。設置して８～10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ●周囲温度が高い場合は寿命が短くなります。
- ●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、器具内蔵の点灯回路は３年間です。ランプ、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠警告
- 煙が出たり､変な臭いがしたり､破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。（火災・感電の原因）
- 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先　三菱電機株式会社　三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統轄部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E763Z051G02　E763Z051H22

保管用

三菱避難口・通路誘導灯【蓄電池内蔵形】

個別制御方式自動点検機能付（リモコン点検機能対応器具）　防雨・防湿形

形名　防雨・防湿形
WSH1951（C 級･片面灯）**WSH2951**（B 級BL 形･片面灯）**WSH4951**（B 級BH 形･片面灯）
WSH1962（C 級･両面灯）**WSH2962**（B 級BL 形･両面灯）**WSH4962**（B 級BH 形･両面灯）

食品工場向（HACCP 対応）
WSH1971（C 級･片面灯）**WSH2971**（B 級BL 形 ･片面灯）
WSH1982（C 級･両面灯）**WSH2982**（B 級BL 形 ･両面灯）

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	指定方向以外の取付けはしない。天井直付または吊具による吊り下げ器具です。（落下・火災の原因）
	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）		直射日光の当たる場所で使用しない。（過熱による変色・変形・火災・火災の原因）
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃を超える）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）		狭い箱のような中で使わない。（器具が過熱して火災の原因）
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電･落下の原因）		工場等での特殊環境（油類噴霧状態等）では、使用できません。
	風が吹く場所には使わない。（落下の原因）		電源を通電しないまま、蓄電池のコネクタをつないだままで放置しない。（過放電状態となり蓄電池の短寿命の原因）
	軒下などの屋側以外の屋外で使用しない。		

お願い

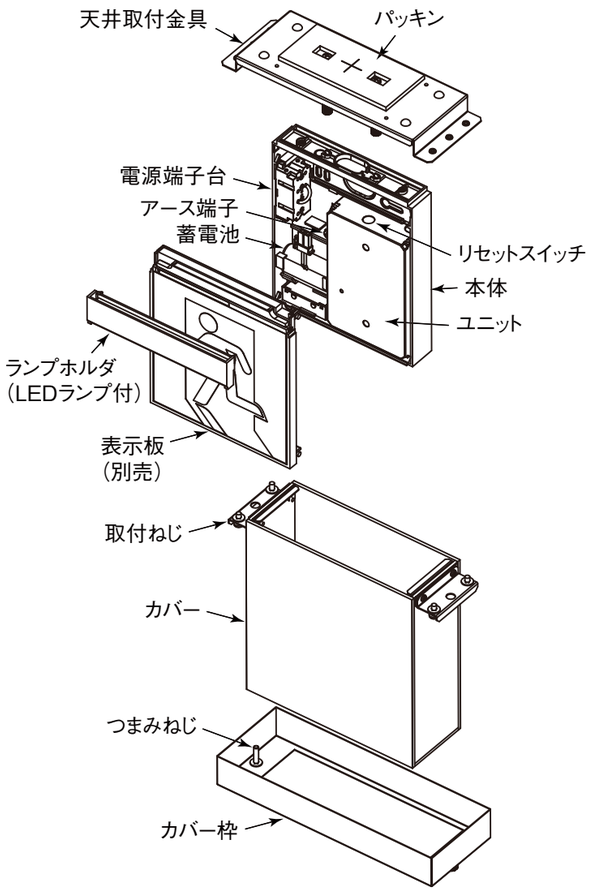
- ■周囲温度は５～35℃の範囲でご使用ください。
- ■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。（蓄電池の寿命が低下することがあります。）
- ■ 24 時間以上充電していない場合は、ランプが正常に非常点灯しない場合（立消え、点灯時間が短い）がありますのでご注意ください。

定格

		WSH1951/1971	WSH1962/1982	WSH2951/2971	WSH2962/2982	WSH4951	WSH4962
平常時	定格電圧	100V					
	定格周波数	50/60Hz					
	入力電流	0.06A	0.10A	0.11A	0.19A	0.14A	0.23A
	入力電力	2.8W	4.6W	5.2W	9.1W	6.9W	11.5W
	使用ﾗﾝﾌﾟ	LE13103S3W-A×1	LE13103S3W-A×2	LE20106S3W-A×1	LE20106S3W-A×2	LE20112S3W-A×1	LE20112S3W-A×2
非常時	電源	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 2.4V 600mAh			密閉形 Ni-Cd 蓄電池 4.8V 600mAh	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 2.4V 600mAh	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 4.8V 600mAh
	使用ﾗﾝﾌﾟ	LE13103S3W-A×1	LE13103S3W-A×2	LE20106S3W-A×1	LE20106S3W-A×2	LE20112S3W-A×1	LE20112S3W-A×1

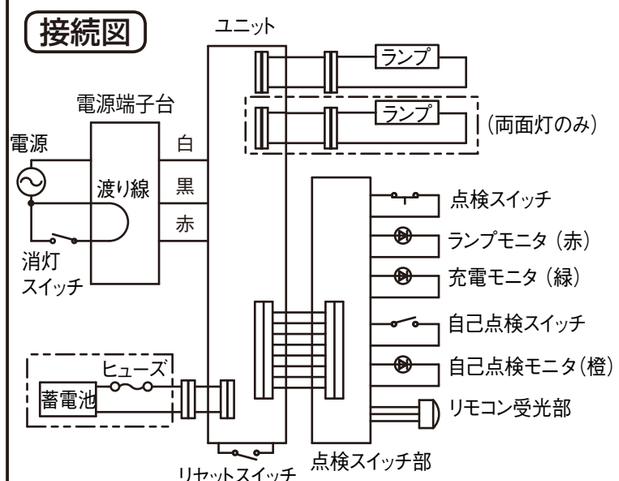
各部のなまえと取付けかた

⚠警告 **器具の取付けは取扱説明書に従い行う**（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



＜上図はWSH1951を示す＞

接続図

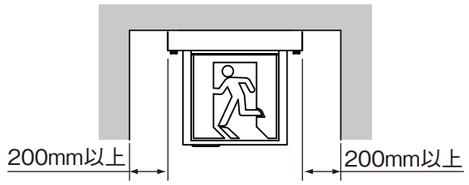


1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう、ねじ取付部の強度を確保する。

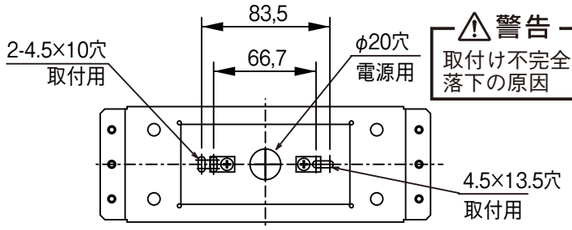
⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

○取付工事のため下図のように器具の両側に 200 mm以上の余裕を設ける。



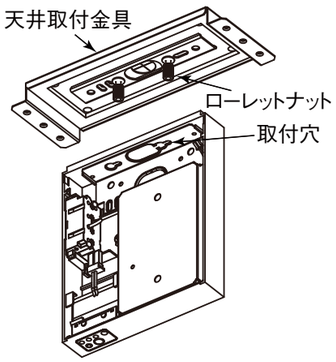
2 器具本体を取付ける

(1) 天井取付金具を取付ける。(単位mm)



⚠警告
取付け不完全は落下の原因

(2) 電源線を本体の電源穴から引き込んでおく。
(3) 本体をローレットナット(2個)で天井取付金具に取付ける。



⚠注意
ナットは確実に取付ける（不完全な取付けは落下の原因）

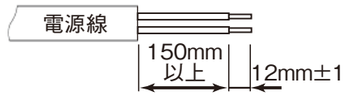
⚠警告
電源線の引き込み部分から水気が浸入しないように防水処理を確実にする。また凸凹面に取付けない。凸凹面に取付ける際には、あらかじめパテ等で取付面を平滑処理してから取付ける。（指定外の取付けは防水性が損なわれ絶縁不良、感電の原因）

お願い
殺菌灯と併用する場合は、殺菌線が表示板・カバーにあたらないように設置する。(表示板・カバーの劣化の原因)

※ WSH1951,1962,2951,2962,4951,4962 を吊下げる場合は CW143P(別売)をご使用ください。
取付方法については CW143P(別売)に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線の皮むき寸法は下図のようにする。



⚠注意
シースは 150mm 以上皮むきする。
本器具は、電源線を収納するスペースが十分にありません。シースのむきが短いと収納スペースがなくなり、表示板が本体に装着できなくなります。

(2) 電源線を電源端子台に確実に差し込む。電源線は器具の奥の方に押しつけるようにする。

⚠注意
電源線が浮き上がっていたり、乱雑に束ねていると、表示板の収納スペースがなくなり、本体に装着できなくなります。

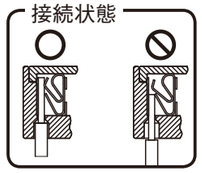
○電源端子台の容量は 20A 以下です

⚠注意
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因

お願い
電源端子台には送り端子が付いていますが、器具内に電源線を収納するスペースが十分にないため、工事性を向上させるために送り配線は器具内で行わず、ジョイントボックスまたはアウトレットボックスで行う事を推奨します。

○適合電線：φ 1.6mm 単線　φ 2.0mm 単線

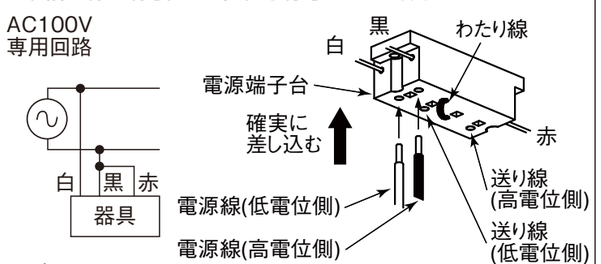
接続状態



⚠警告
送り配線は誘導灯専用とし、容量を確認して接続する
（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

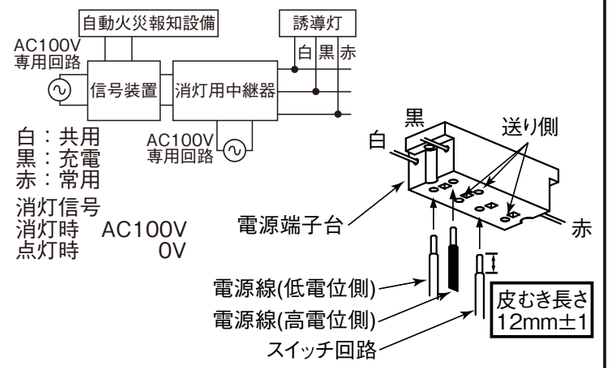
⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ電源端子台の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

＜単相2線2線引き・平常時消灯しない場合＞

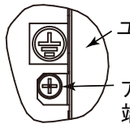


⚠警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない

＜単相2線3線引き・平常時消灯する場合＞
・電源端子台のわたり線をはずす。



(3) アース線を接続する。



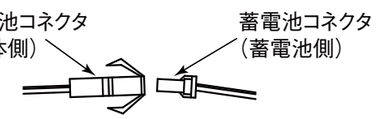
⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

⚠警告
接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因

誘導灯用信号装置等を用い、自動火災報知設備の動作と連動させてください。
○通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mm のマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。
■平常時消灯する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。
■誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書を参照してください。

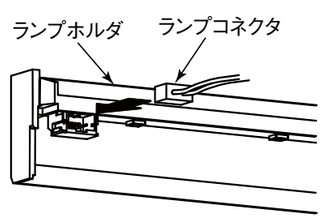
4 蓄電池のコネクタを接続する

コネクタを確実に接続する。



5 ランプコネクタを接続する

ランプコネクタをランプホルダに確実に取付ける。(両面灯の場合には、背面側にもランプホルダを確実に取付ける。)



⚠注意
ランプコネクタに無理な力を加えない
（ランプ破損の原因）

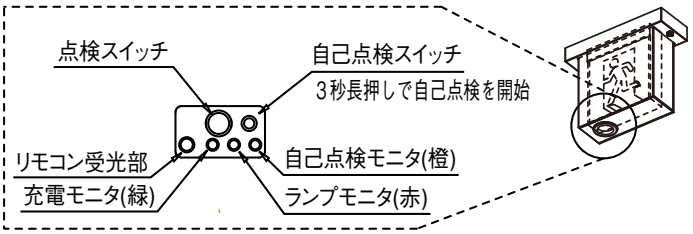
お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

個別制御方式自動点検機能（誘導灯用）以下自己点検機能という の使用方法

○自己点検機能を使用する前に以下の項目を確認してください。
（1）24 時間以上連続充電をしている（点検スイッチを押したり、停電等で電源が遮断されてしまった場合は自己点検に移行しません）
（2）充電モニタが点灯している（蓄電池が正常に接続・充電されている）
（3）ランプモニタが消灯している（ランプが正常状態である）
上記項目を満足していない場合は、自己点検スイッチを操作しても自己点検機能に移行しません。

器具本体

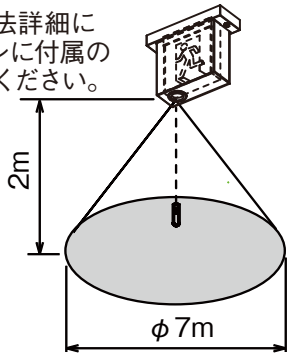


自己点検スイッチ：3 秒長押しで誘導灯部の自己点検を開始します。
点検スイッチ：スイッチを押している間、非常点灯に切り替えます。
自己点検モニタ：自己点検中である事、点検可能・不可をお知らせします。
ランプモニタ：ランプの寿命、異常をお知らせします。
充電モニタ：蓄電池が充電中である事､寿命をお知らせします。
リモコン受光部：別売のリモコンの信号を受ける受光部です。

RZB01（別売）

確認ボタン：自己点検可能か確認をします
自己点検ボタン：自己点検を開始します
中断ボタン：自己点検を中断します
手動点検ボタン：非常点灯に切り替えます。

※リモコンの使用方法詳細については、リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。



本体受光範囲

リモコンの操作は、点検を開始する器具の真下から受光部に向けて行ってください。誤動作した場合は器具の真下より中断ボタンを押してください。

①器具本体の自己点検スイッチを 3 秒以上押す
または
リモコン(RZB01(別売)) の自己点検ボタンを押す

↓

②自己点検開始

↓

③定格時間(20 分) 後
自動で通常状態に復帰

器具モニタ表示

モニタ表示		点検モニタ(橙)		ランプモニタ(赤)		充電モニタ(緑)	
点検中表示		☀	点滅	○	消灯	○	消灯
正常時		○	消灯	○	消灯	●	点灯
蓄電池異常時	寿命	○	消灯	○	消灯	☀	点滅
	外れ、破損	○	消灯	○	消灯	○	消灯
ランプ異常時	寿命	○	消灯	☀	点滅	○	消灯
	外れ、破損	○	消灯	●	点灯	○	消灯

○蓄電池容量が不足している場合は定格時間(20 分) 経過前に点検結果を表示し、通常状態に復帰します。
※点検の結果、蓄電池が寿命と判断された場合は速やかに蓄電池を交換してください。
○ランプ異常については自己点検の操作に関わらず常時検出されます。
○自己点検機能が動作中に、点検スイッチを押すことにより自己点検を解除することができます。

リモコンの確認ボタンを押したときの器具モニタ表示

モニタ表示	点検モニタ(橙)		ランプモニタ(赤)		充電モニタ(緑)	
点検可能な場合 (連続充電時間：２４時間以上)	☀	点滅	○	消灯	☀	点滅
点検不可の場合 (連続充電時間：２４時間未満)	☀	点滅	☀	点滅	○	消灯

点 検

■６ヶ月に１回、外観及び機能（非常点灯持続時間と切替動作）の点検を行う。[消防庁告示第３号と第 14 号]
■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第 31 条]
■ 24 時間以上充電後、非常点灯持続時間が２０分以下となったら蓄電池を交換する。

この説明書は、再生紙を使用しています。

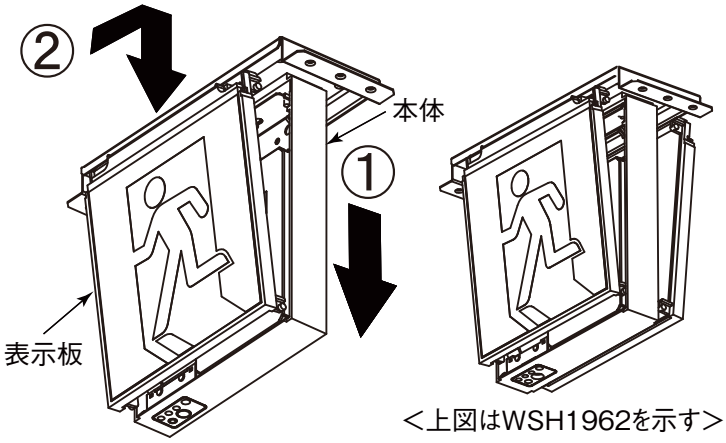
連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統轄部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

各部のなまえと取付けかた

⚠警告 **器具の取付けは取扱説明書に従い行う**
（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

6 表示板を本体に装着する

リード線をはさまないように、①②の順で、表示板を本体に確実に取付ける。（両面灯の場合には、背面側にも表示板を取付ける。）



＜上図はWSH1951を示す＞

＜上図はWSH1962を示す＞

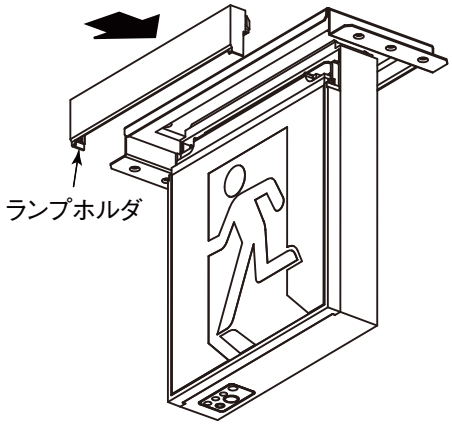
⚠警告

本体と表示板の間に配線をはさみこまない
（故障・感電の原因）

表示板を本体に確実に取付ける
（取付け不完全はがたつき、落下の原因）

7 ランプホルダを本体に装着する

ランプホルダを本体に取付ける。（両面灯の場合には、背面側にもランプホルダを取付ける。）



＜上図はWSH1951を示す＞

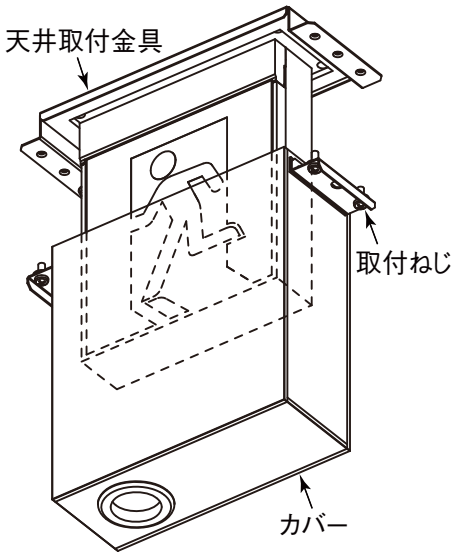
⚠警告

本体とランプホルダの間に配線をはさみこまない
（故障・感電の原因）

ランプホルダを確実に取付ける
（取付け不完全はがたつき、落下の原因）

8 カバーを取付ける

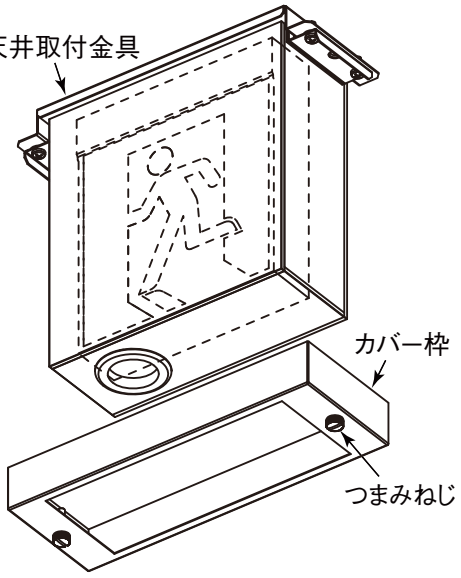
○付属のねじ４本を使用して天井取付金具にカバーを取付ける。



＜上図はWSH1951を示す＞

9 カバー枠を取付ける

○つまみねじ２本で天井取付金具にカバー枠を取付ける。



＜上図はWSH1951を示す＞